

平成24年度三重県担い手農業者研修会開催要領

1 目的

三重県の農林水産業は、従事者の高齢化や担い手不足の深刻化、グローバル化の進展、生産物価格の低迷など厳しい状況に置かれており、県民のみなさんに食や就業機会を提供している農林水産業の活力低下が懸念されています。

また、国民の価値観やライフスタイルの変化、急速な少子高齢化などを背景に、消費者や食品産業事業者等が求める県産品を流通・販売から消費までを考えて企画・生産する取組みを、県内各地域で早急に定着させることが重要です。

このため、三重県では、三重の食を拓(ひらく)「みえフードイノベーション」の創出をとおして、本県の「食」の魅力等を生かした新商品が活発に生まれる環境整備や発信力強化、それを支える農・林・水のものづくり風土の醸成などに取り組むことによって、もうかる農林水産業の発展を目指し活動しております。

そこで、県内の担い手農業者や農業法人等の皆様に、もうかる農業の実践をしていただき、人材育成やさらなる経営発展につなげる視点を持っていただくことを目的として、本研修会を開催します。

2 主催

三重県担い手ネットワーク、三重県

3 後援

三重県農業会議、公益財団法人三重県農林水産支援センター

4 日時

平成25年3月14日(木) 13:30~15:30

5 場所

三重県総合文化センター(生涯学習センター棟4階)大研修室
(津市一身田上津部田 1234)

6 日程

13:30~14:00 報告

『~もうかる農業の実現に向けて~ みえフードイノベーションの取組』

報告者 三重県農林水産部フードイノベーション課副課長 矢野次男

14:00~15:30 講演

『儲かる農業への挑戦 ~ヒントは地域特性と経営特性の物語づくり』

講師 株式会社谷口農業

代表取締役社長 谷口 威裕 氏

【講師 谷口 威博 氏 プロフィール】

たにぐち・たけひろ 1949年、旭川市生まれ。旭川農業高校卒業後の68年、父親が法人化した谷口農場に入社。92年から社長。前北海道農業法人協会会長など公職多数。谷口農場は社員13人と研修生、パートで、トマトもぎとり園や直売所、レストランも経営。年商3億6千万円

研修会開始前 13:00~13:30 に「三重県担い手ネットワーク総会」を開催します。

7 参集範囲

三重県担い手ネットワーク会員、三重県指導農業士連絡協議会会員、三重県青年農業士連絡協議会会員、三重県農村女性アドバイザーネットワーク会員、県内各市町認定農業者、市町・関係機関・関係団体職員等